



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2023 6



5月9日「ピースアクション2023 第1回実行委員会」を開催しました。
今年度取り組むイベントごとに班ごとに分かれ、皆で計画を具体化、検討しました。
(関連ページP3)





甲南女子大学生協同組合
専務理事

金保 吉郎
(かなほ・よしろう)

組合員の「今」に向き合う

2021年5月より甲南女子大学生協を担当させていただいております金保と申します。就任当時は2020年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、たいへんな時期に引継ぎをしていたことを覚えています。

2020年度のうちに新型コロナウイルス感染症については一応の対処法は確立できたものの、2021年度に入り、変異株の発生等で緊急事態宣言や、まん延防止等特別措置が発出されることになりました。そのために大学生協の店舗も営業休止などの対応をいたしましたので、思うような活動ができない状態が続きました。キャンパスには学生組合員が来なくなつたため、経営状態も大きく悪化し、過去の例のない異常事態となりました。私は2015年まで甲南女子大学生協で書籍購買部の店長をやっていたので、その時との学内の違いに、当然ですが驚きました。

2023年5月からは効果的な予防対策が見えてきたことから、感染症に

ついでの取り扱いが変更され、過去の3年間の生活とは変わっていくことが予測されます。変化のある年だからこそ、組合員の「今」に向き合うことが何よりも重要だと考えています。

組合員が大学生協に求めるものは常に変化しています。今、そしてこれから組合員が求めることを、生協としての自分を見失わず、多くの組合員の声を聴き、事業活動へ反映させ、組合員利用を高めていきます。そして私が知っているコロナ以前のようなキャンパスライフを組合員が送られるように、事業活動を進めてまいります。同時に、生協の立場から組合員の知る・学ぶ・活動することを応援し、協力して豊かなキャンパスコミュニティづくりに貢献していきたいと考えています。

甲南女子大学生協は2026年に30周年を迎えます。それまでにひとつでも多くの良い報告ができるよう取り組んでまいります。

若輩者ではございますが、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

CONTENTS

2. 想点

3. ピースアクション実行委員会 報告／
ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会 報告

4. 協同組合のかけ橋

5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓

6. 第101回国際協同組合デー・兵庫県生協大会のご案内／
県連行事予定／編集後記

「ピースアクション2023」 第1回 実行委員会を開催

5月9日、「ピースアクション2023」第1回実行委員会を開催しました。

前回（2/21開催2022年度第3回委員会）で決定した、今年度の方向性を再共有したのちに、イベントごとの班に分かれてそれぞれ実行プランを具体化しました。

今年度は11月に神戸市兵庫区の戦争遺跡を巡る「神戸戦跡謎解きウォーク」、2024年3月（予定）に南あわじ市の戦争遺跡を巡る「南あわじの戦跡を訪ねるバスツアー」を開催。どちらも語り部さんからお話を聞き、神戸戦跡ウォークは大学生協 学生事務局の学生さん達との協働で進めます。

また、実行委員の学びとして8月に平和記念公園などの見学とピースナイターに参加する「広島日帰りツアー」を計画しており、行程について検討しました。

各生協・団体からの平和の取り組みの活動報告では、2月に発生したトルコ・シリア地震の募金活動、鵜野飛行場跡を巡るクイズラリー、姫路空襲体験談を聴く会、災害に備え私達に出来ることを考える「人と防災未来センター」での防災減災イベントなどの報告と合わせて、4年ぶりに組合員、地域の方々の参加を募る「健康まつり」開催、「有害化学物質から子どもを守るネットワーク」加盟、「敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有と防衛費増大に反対する消費者団体共同声明」への賛同などのお知らせがありました。



鵜野飛行場跡を巡るラリーの報告

「ひょうごまるごと健康チャレンジ2023」 第2回 実行委員会を開催

5月12日、「ひょうごまるごと健康チャレンジ2023」第2回実行委員会を開催しました。

今回はより参加者に親しみをもってもらえるパンフレットにしようと、形状の見直しやイメージキャラクターについて話し合いました。また、今年度の目標を皆で具体化し、コースメニューの内容や景品などについて検討しました。

今年度もチャレンジ期間は7月から11月の予定です。「ひょうごまるごと健康チャレンジ」はスタートから6周年。今年も自分に最適な「健康チャレンジメニュー」を選んで、気軽に健康習慣づくりに取り組みましょう。詳細は次月7月号でご案内いたします。



協同組合のかけ橋

JF

JF 淡路島岩屋

「長浜（新）製氷貯氷施設」が完成

この度、淡路島岩屋漁業協同組合 長浜製氷貯氷施設の竣工式が行われ、関係者に施設が披露されました。

既存の施設は老朽化の影響で、トラブルが頻繁に起き、氷を安定的に供給できない状況が続いていました。このため近隣漁協から氷を購入し、漁業者がトラックで輸送し、貯氷庫へ手作業で搬送するなど多大な労力を要していました。この為、漁獲した魚の鮮度保持、氷の積込み時間の短縮と労働環境改善を目的に製氷施設の建設が進められました。

JF 淡路島岩屋 東根 壽代表理事組合長は、あいさつで関係者への祝辞、施設整備の必要性などに触れられた後、「この度、製氷貯氷施設の整備によりシラス並びに鮮魚の鮮度が維持できることにより、価格維持や品質の向上が図れ、漁家経営の安定に寄与することができます。」と同施設への期待を述べられました。

施設概要

【施設規模】 鉄骨造 3階建 85.76㎡
(延べ床面積 257.28㎡)

【能力】 製氷20t/日・貯氷20t



JF 淡路島岩屋
東根代表理事組合長 挨拶



長浜（新）製氷貯氷施設



屋内搬送機



漁船へ氷の自動搬入

JA

JA 兵庫六甲

先進技術と手作業を組み合わせ、大粒で甘いイチゴを消費者に届ける

兵庫県生まれの西村大也さんは、先進技術を採用した園芸施設でトマトの栽培管理業務に携わっていましたが、退職して、2年前に、「濃恋のうえん」をオープンしました。

品目選定は約10年間の栽培経験があるトマトではなく、消費者とふれ合う機会が持て、収穫時期が長く、収益性の高いイチゴを選択し、現在は、約20aのハウスで約1万2,000株のイチゴを栽培しています。

JA 兵庫六甲八田支店営農相談員の松本浩一さんは、「西村さんのハウスがある八田町は比較的新規就農者が多い地区で、西村さんも最先端技術を用いて栽培に取り組み、イチゴ部会や生産を盛り上げている生産者の1人です」と話します。

西村さんが栽培するイチゴは1粒約50gと、一般的に30g前後とされるサイズよりもかなり大粒で、甘みも堪能できるのが特徴です。これは、トマト栽培の経験に基づくデータ栽培管理技術を活かして、約40項目にもわたるデータ分析や温度、二酸化炭素量などを全て自動制御とし、勤に頼りすぎない栽培管理を行っているからです。

一方、新鮮なイチゴを消費者に提供するため、早朝3時から手作業で収穫し、ハウスに併設している直売所で販売するなど、消費者との直接の対話や繋がりといった“アナログな関係”も大切にしています。

西村さんは、「今後もイチゴ狩りやHP・SNSを活用して農業の魅力を発信し、イチゴ生産や地域を盛り上げていきたい」と話します。





緊急の鍵開けで高額請求された!

Q 深夜に帰宅したが、鍵が壊れているようで玄関が開かない。鍵開けの事業者をスマホで検索し「業界最安値、6千円から」という広告の事業者に来てもらったが、深夜の作業であり、また特殊な鍵であると言われ10万円を請求された。広告の料金と比べ高すぎる。(20代、男性)

A 緊急で鍵開けを依頼したところ、広告と比べて高額な料金を請求されたというトラブルが多発しています。多くの事案に共通するのは、

- ① 消費者が開錠事業者をインターネットで検索する
- ② 検索上位の「業界最安値〇円」「最短〇分で到着」などの広告を見つける
- ③ 事業者に電話をするが事前に具体的な料金の説明がない
- ④ 現場で様々な理由で高額な料金を請求される
- ⑤ 自宅に入るために仕方なく支払ってしまう



というパターンです。

開錠のトラブルを防ぐためには、まず「広告の料金表示」をうのみにしないことです。現場の状況次第で開錠の料金が変わるため、表示にある安い料金で開錠できるとは限りません。また、当初の想定とかけ離れた作業料金を提示される、作業内容に不安を感じる事があれば、無理にその場で判断せず作業を断りましょう。

さらに、料金を支払ってしまったとしても、インターネットの広告やチラシに表示された料金と実際に請求された金額が大きく異なる場合や、作業の見積りのために呼んだ事業者とその場で契約した場合は、特定商取引法によるクーリング・オフ（無条件で契約の解除）ができる可能性があります。クーリング・オフ期間は正式な契約書（法定書面）をもらった日を含めて8日間です。

また、普段から、自宅の鍵の種類やメーカー・製造番号を確認して、鍵メーカーの修理店舗を調べておきましょう。賃貸住宅の場合は、管理会社に鍵の故障・紛失時の対応について事前に確認しておきましょう。

困ったときやトラブルになった場合は、すぐにお近くの消費生活センターに相談してください。

兵庫県立消費生活総合センター
☎ 078-303-0999



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

さてさて、前回、ひょうご消費者ネットが KRG 管理センター（現 ハートランド管理センター）の分譲地管理契約に対して提起した差止請求訴訟について、お話しました。過去に日本の全国各地の分譲地を購入した人に対して、分譲地の維持管理事業を譲り受けたとして KRG が、管理契約に基づいて分譲地の管理費を請求するという問題です。分譲地と言っても、原野や山林のような土地もあります。何が問題かという点「分譲地の所有者である限り管理契約が更新され続け、管理契約から離脱できない」ことにあります。ひょうご消費者ネットは、管理契約から離脱できない契約条項は、消費者契約法10条に違反しているため、無効だという主張を行いました。裁判の経過は、2021年9月に言い渡された神戸地方裁判所での判決では、ひょうご消費者ネットの主張は認められず。これに対して控訴したところ、2022年9月20日に大阪高等裁判所において、消費者が分譲地の所有者である限り管理契約が更新され続ける旨の条項は、消費者契約法 10 条に違反しているとして、ひょうご消費者ネットの請求を一部認める内容の逆転勝訴判決が言い渡されました。なお、この判決に対して、KRG 側は最高裁判所へ上告、上告受理申立てを行っているので、今後は最高裁の判断を待つことになります。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

第101回国際協同組合デー・ 兵庫県記念大会のご案内

国際協同組合デーは、毎年7月の第1土曜日に、世界の協同組合の仲間が心をつなげて、協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために協同組合運動の前進を誓い合う日です。これを受けて兵庫県記念大会を行います。記念講演では枝元なほみ氏をお迎えし、「みんなが幸せに生きるために～たのしく健康に！食の大切さのおはなし～」をテーマにお話しいたします。ご参加をお待ちいたしております。

◆と き：2023年7月7日(金) 午後1時30分～4時

◆ところ：兵庫県民会館 9階 けんみんホール
(神戸市中央区下山手通4-16-3)

◆プログラム：I部 記念式典
II部 記念講演

「みんなが幸せに生きるために
～たのしく健康に！食の大切さのおはなし～」

講師 ^{えだもと} 枝元 なほみ氏

◆定 員：300人 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

※会場参加者には「参加証」を事前にお渡しします。当日、会場受付にご提出ください。
※会場ではマスクの着用をお願いいたします。

◆入場料：無料

◆主 催：兵庫県協同組合連絡協議会 (兵庫 JCC)
兵庫県生活協同組合連合会
兵庫県農業協同組合中央会
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県森林組合連合会

◆お申込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会
電話：078-391-8634

◆申込締切：6月9日(金)

悪天候等、諸般の事情により中止する場合は、当日朝9時に
兵庫県生協連合会ホームページに掲載いたします。



枝元なほみ氏 プロフィール

明治大学文学部英米文学科入学。劇団員、無国籍料理店スタッフを経て料理の道へ。オリジナリティあふれる料理、作りやすいレシピが人気を集め、テレビ・雑誌で幅広く活躍。その傍ら、ホームレスの自立を支援する「NPO 法人ピックイシュー基金」共同代表、日本の農業を応援する「チームむかご」代表理事を務める。著者「捨てない未来ーキッチンから、ゆるく、おいしく、フードロスを打ち返す」「枝元なほみのリアル朝ごはんー毎朝、こんなの食べてます」「枝元なほみの今夜はおでん」「エダモンが畑からお届け！農家ごはんとう野菜レシピ」他多数。

兵庫県生活協同組合連合会

検索

県連行事予定

- 6月5日(月) 兵協連 第3回役員推薦委員会 (県民会館 亀)
- 6月5日(月) 兵協連 第7回理事会 (県民会館 亀)
- 6月26日(月) 兵協連 第73回通常総会 (県民会館 パルテホール)
- 6月26日(月) 兵協連 第1回理事会 (県民会館 1201)

編集後記

新年度がスタートして早二ヶ月が経過しました。新しい環境に身を置かれた方もすっかり慣れたところでしょうか。6月の和風月名は「水無月」。梅雨入りの季節に、水が無いとは不思議ですが、旧暦の6月は現在の7月頃で、梅雨も明け暑さの厳しい日が続く時期であるからという説と、田んぼに水を張る月という意味の「水な月」という説があるそうです。どちらにしても田植えの前の「田水張る」は夏の季節語。
6月号がお手元に届く頃には雨の日が増え湿度も上がっていることでしょう。水を張って田植えの時を待っている田んぼのように、私達もあらかじめいろいろなことを準備して健やかでいたいものです。皆さま健康管理に十分気をつけてお過ごしください。
(吉本)

